

# ごあいさつ



高松市小学校管楽器教育研究グループ『ビバ! ブラス』 代表 徳田 仁司

本日はようこそおいでくださいました。このバンドフェスティバルもおかげをもちまして第7回を迎えることができました。これもひとえに、子どもたちの音楽活動を陰日向で支援してくださった方々のおかげだと感謝申し上げます。

第7回となり、このフェスティバルも伝統を感じるようになってきました。

そのひとつは、自分たちの演奏をより高めようとするだけでなく、恒例の合同演奏やスーパーバンドの合同練習会を楽しみにするようになり、この時期になると学校間を越えて共に音楽を創り上げていこうという気持ちが自然と盛り上がってくることです。

ふたつめは、保護者・学校の連携のとれた支援です。先日、市のアンサンブルコンテストの会場である一宮小学校へ行きました。コンテスト会場が小学校になってから初めておじゃましたのですが、出演している子どもたちのきびきびとした動きはもちろん、門の開閉をしている方、ステージ場でお世話している方など、どの方の動きを見ても「子どもたちのためになることだったら」「私たちが音楽が大好きなんだ」などという気持ちが自然と伝わってきました。これも、伝統のひとつだと強く感じました。

今日子どもたちの趣向をこらした楽しくひたむきな演奏も皆さんの心に強く響き渡ることでしょう。盛大な拍手をお願いいたします。

今回は招待演奏として香川県立農業経営高等学校「拓心太鼓」の方々が、息のあった迫力ある演奏をしてくださいます。ありがとうございます。

終わりにりましたが、演奏会開催にあたりまして、それぞれの学校の校長先生をはじめ、諸先生方、保護者の皆様に、多大な御支援・御協力いただいたこと厚く御礼申し上げます。



香川県吹奏楽連盟理事長 片岡 義和  
(国立詫間電波工業高等専門学校教授)

本日はビバ! ブラス「第7回小学校バンドフェスティバル」にご来場いただきありがとうございます。今年も関係各位のご努力により、この素晴らしいフェスティバルが共催できることを喜んでおります。

この時期の児童の頭は柔らかく、好奇心と興味の有ることには学習意欲が倍増します。単に音楽を聴く楽しさだけでなく、演奏する喜びや、他の楽器との共鳴によるハーモニーの美しさに感動、仲間達との共同作業で作上げた音楽に対する感情の高ぶり等々、さらに、そこに子ども達の興味・好奇心に的確に対応・指導していただける先生がいて素晴らしい音楽が体験できます。子ども達は五感を全開にして今を過ごしています。児童期に五感を全て使って体験・学習したことは、後の人生で応用力やアイデアの源となります。

本日子ども達のために、ゲスト出演いただく香川県立農業経営高等学校の「拓心太鼓」の皆さんに御礼申し上げますと共に、ご来場の皆様方に子ども達と共に素晴らしい和太鼓のリズムと勇壮な響きを心行くまでご堪能ください。

最後に、ご来場の皆様方の暖かいご声援によりビバ! ブラス「小学校バンドフェスティバル」がますます盛会となりますようご指導ご鞭撻いただければ幸いです。ご協力いただきました皆様方に心より御礼申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。